

**報道関係 各位**

2002年6月25日

アジアパシフィックシステム総研株式会社

本社：東京都豊島区目白1-4-25

代表者：代表取締役社長 木庭 清

資本金：9億1千万円

株式会社クレオ

本社：東京都港区高輪3-19-22

代表者：代表取締役社長 大谷 武彦

資本金：22億6千万円

**アジアパシフィックシステム総研とクレオ両社長の
相互取締役就任および資本・業務提携について**

アジアパシフィックシステム総研株式会社(本社：東京都豊島区、代表取締役社長：木庭清 以下、ASPAC)と、株式会社クレオ(本社：東京都港区、代表取締役社長：大谷武彦 以下、クレオ)は、両社が保有する経営資源を相互に活用し、両社事業の強化拡大を図ることを目的とした業務提携および資本提携に合意しましたのでお知らせ致します。

1.目的と内容

ASPACは、30年以上の歴史を有する独立系ソフト開発ベンダーで金融、製造流通業界を中心に汎用系、業務系、基盤系のノウハウを有しています。汎用系ノウハウを早い時期からWebビジネスに生かすことに取組み、数々のホスト連動インターネットサイトの構築に貢献しています。またEJB(Enterprise Java Beans)、COM(Component Object Model)等によるコンポーネント化、再利用技術に対しても早い時期より取組みノウハウを蓄積しています。

クレオは、公官庁や企業向けのシステムインテグレーション事業、毛筆印刷ソフト「筆まめ」などのコンシューマ向けのプロダクトサービス事業、企業の基幹システムを支える会計・人事給与業務ソリューション「クレオ・ビジネス・マネージャー・シリーズ(CBMS)」の開発・販売を行うCBMS事業といった、幅広い分野でソリューションサービスを提供しています。

そして、このたび両社は、以下を目的とした業務・資本提携を行い、両グループ相互の発展を

目指していきます。

- (1) ジョイントベンチャーのスケールメリットを生かした大型案件獲得による売上と収益の拡大追求
- (2) チャネル系パートナービジネスの補完による売上と収益の拡大
- (3) エンドユーザー開拓の顧客基盤の拡大
- (4) 技術の補完・増強

上記の目的に向けて、両社は、製造・流通・運輸・金融分野等のS Iサービス事業の協業、チャネル系パートナーからの大規模ソリューション受注を目指します。そして、両社のソリューションメニュー統合化によって、それぞれの顧客に対する業務およびシステム改善のコンサルティングサービスを強化し、上流から下流までのトータルなソリューションサービスを提供していきます。また、両社が保有しているミドルウェア等の技術を補完することにより、時代の流れを見据えた新しいコア技術を武器にしたサービス展開を行っていきます。

2.資本提携内容

両社の業務協力強化の一環として、両社は、お互いに発行済株式総数の5%を取得するものいたします。

3.役員相互派遣について

両社は人的な連携の促進を目的に、役職員の人事交流を行っていきます。

具体的には、両社の本年度定時株主総会(6月下旬開催)において、クレオ代表取締役社長 大谷武彦をASPAC取締役に、ASPAC代表取締役社長 木庭清をクレオ取締役に選任する予定です。

以上